

日本熱帯農業学会第 127 回講演会学生優秀発表賞の審査結果

日本熱帯農業学会第 127 回講演会における学生優秀発表賞につきましては厳正なる審査の結果、以下の発表に決定いたしました。

講演番号：6

発表題目：フィリピンで発生しているバナナ新パナマ病の防除 その 1. 土壌還元消毒法の条件検討

発表者：*中島陸喜¹・高田美輝²・野澤俊介²・水野宗衛¹・Dionisio, G., Alwindia³・植松清次⁴・渡辺京子^{1,2*}

¹玉川大学農学部・²玉川大学農学研究科・³フィリピン農業省ポストハーベスト機械化研究所・⁴東京農工大学生物制御科学専攻

講演番号：10

発表題目：タンザニア東部の丘陵地帯でみられるキャッサバの品種選択における食糧生産安定化戦略

発表者：*平田二千翔・樋口浩和・縄田栄治

京都大学大学院農学研究科

講演番号：P8

発表題目：サゴヤシ実生の肥料反応特性

発表者：*浅野航輝¹・Aidil Azhar^{1,2}・仲田(狩野)麻奈¹・槇原大悟¹・内藤 整³・江原 宏¹

¹名古屋大学・²IPB 大学・³倉敷芸術科学大学

講演番号：P12

発表題目：ネパール産トウガラシ遺伝資源の種同定に向けた SSR マーカーによる多型解析

発表者：*徳田真帆¹・車田翔平^{1,2}・千葉一樹^{1,3}・B.K.Joshi⁴・H.K.Ghimire⁴・D.S.Shrestha⁴・根本和洋⁵・松島憲一^{5,1}

¹ 信州大院総合理工・² トキタ種苗 株 ・³ 農研機構遺伝資源センター・⁴ National Agriculture Genetic Resources Center (NAGRC), Nepal ・⁵ 信州大学術研究院農

なお、表彰につきましては第 128 回講演会以降に実施いたします。

残念ながら表彰できなかった発表につきましても、たくさんの高評価が寄せられました。大変な時期ですが学生会員の皆様におかれましては、日々の生活に気を配りながらも取り組んでいる研究活動に一層邁進していただければと思います。次回以降のエントリーもお待ちしております。

以上

日本熱帯農業学会